

# 令和5年度事業報告

(事業報告書・収支計算書)

自 令和5年 4月 1日  
至 令和6年 3月31日

令和6年6月11日

一般社団法人 大日本水産会

# 目 次

## 第Ⅰ．組織運営状況

1. 主要管理事項	1
2. 総会	1
3. 理事会	2
4. 会員	3
5. 役員等の構成	3
6. 機構及び職員数	4

## 第Ⅱ．業務の実施概要

1. 一般会務、政策推進活動等	5
2. 魚食普及推進関係等	1 1
3. 海務・労務、国際対策業務等	1 5
4. 輸出促進、水産食品安全対策、加工流通対策等	2 5

## 第Ⅲ．令和5年度収支計算書

1. 貸借対照表	3 5
2. 正味財産増減計算書	3 6
3. 正味財産増減計算書総括表	3 7～3 8
4. 正味財産増減計算書内訳表	3 9
5. 計算書類に対する注記	4 0～4 1
6. 附属明細書	4 2
7. 監査報告	4 3

## 第 I . 組織運営状況

### 1. 主要管理事項

事項	期日・回数等	内容・場所等
会計監査	令和5年4月26日(水)	本会会議室
第200回理事会	令和5年5月19日(金)	書面開催
第129回通常総会	令和5年6月7日(水)	霞山会館
第201回理事会	令和5年6月7日(水)	霞山会館
第202回理事会	令和5年9月28日(木)	書面開催
第130回臨時総会	令和5年10月30日(月)	書面開催
正副会長会議	令和5年11月2日(木)	本会会議室
第203回理事会	令和5年11月14日(火)	本会会議室
正副会長会議	令和6年3月8日(金)	本会会議室
第204回理事会	令和6年3月26日(火)	航空会館

### 2. 総会

#### 第129回通常総会議案及び可決事項

第1号議案 令和4年度事業報告並びに収支決算について

第2号議案 役員を選任について

第3号議案 その他

報告事項 第1号 令和5年度事業計画並びに収支予算について

#### 第130回臨時総会議案及び可決事項

第1号議案 役員を選任について

### 3. 理事会

#### 第200回理事会議案、承認可決事項

第1号議案 令和4年度事業報告並びに収支決算について

第2号議案 第129回通常総会の開催について

第3号議案 評議員、相談役、顧問の委嘱について

#### 第201回理事会議案、承認可決事項

第1号議案 会長、副会長、専務理事、常務理事の選定について

第2号議案 相談役の委嘱について

第3号議案 その他

#### 第202回理事会議案、承認可決事項

第1号議案 第130回臨時総会の開催について

#### 第203回理事会議案、承認可決事項

第1号議案 令和5年度上半期事業報告並びに収支現況報告について

第2号議案 役員の選定について

第3号議案 評議員の一部変更について

第4号議案 その他

#### 第204回理事会提出議案

第1号議案 令和5年度事業報告並びに収支見込について

第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算について

第3号議案 評議員の変更について

第4号議案 その他

#### 4. 会員

- ・ 関連分野の団体・企業へ積極的に働きかけ、会員の確保に努めた。
- ・ 令和5年度を通じた会員の異動は次のとおり。

種 別		令和4年度末	増	減	令和5年度末
普通 会員	団 体	108	1	0	109
	会 社	94	5	1	98
	小 計	202	6	1	207
賛 助 会 員	団 体	52	0	2	50
	会 社	318	2	9	311
	小 計	370	2	11	361
合 計		572	8	12	568

#### 5. 役員等の構成

役 職	員 数	役 職	員 数	役 職	員 数
会 長	1	常務理事	1	相談役	7
副会長	6	理 事	35	評議員	23
専務理事	1	監 事	5	顧 問	2

## 6. 機構及び職員数

役 職	部長 (参与・センター長 代理含む)	次長 (室長含む)	課長 (代理含む)	職員	嘱託	計
漁政部	2	1	2	3	8	16
魚食普及推進 センター	1	0	2	0	0	3
事業部	1	0	3	4	2	10
輸出促進部	3	0	2	1	4	10
計	7	1	9	8	14	39

## 第Ⅱ．業務実施概要

### 1．一般会務、政策推進活動等

#### (1) 一般会務関係

- ・第129回通常総会を6月7日に開催し、令和4年度事業報告及び収支決算が承認され、令和5年度事業計画書及び収支予算の報告がなされた。

#### (2) 水産政策拡充対策の促進

- ・9月19日、会長、副会長及び関係中央団体長他により、宮下新農林水産大臣を表敬し、大臣就任に対するお祝いを述べるとともに、業界としての抱負と決意について述べ、大臣の指導、支援を求めた。
- ・12月19日には、会長、副会長及び関係中央団体長他により、坂本新農林水産大臣を表敬し、大臣就任に対するお祝いを述べるとともに、業界としての抱負と決意について述べ、大臣の指導、支援を求めた。
- ・令和6年度の予算要望については、予算対策協議会を開催し、原油をはじめとする各種資材、餌飼料の価格高騰、海洋環境の変化による主要魚種の不漁により悪化している経営の維持や水産物の消費拡大・加工流通・輸出対策およびスマート・デジタル技術の活用、「人・船・資源」の各分野における構造改革や省人・省力・省エネ化、「海業」による地域振興等、業界要望を取り纏め、与党に対して要望を行った。10月には「新たな経済対策並びにこれに基づく令和5年度補正予算に係る要望について」と題し、①海洋環境の変化による資源変動に対応した漁法・魚種の複合化・転換への支援、スマート・デジタル技術の活用による漁船漁業等の構造改革の推進に向けた「もうかる漁業」、「リース事業」への対応、②漁業・水産加工業を担う人材の確保・育成対策への支援、③水産物の消費拡大及び加工流通及び輸入規制への外交上の強力な対応を含む輸出対策など養殖を含む国内外の需要拡大・流通対策、④漁業収入安定対策（漁業共済・積立ぷらす）および漁業経営セーフティネット構築事業基金の拡充・強化を柱とする要望書を作成し、与党に対し要請した。その結果、令和5年度補正予算と合わせて、6年連続で3,000億円を超える水産関係予算（3,170億円）が措置された。
- ・令和6年度の税制改正要望については、税務委員会において業界の要望を取り纏めるとともに、税制上の所要の措置等を盛り込んだ税制改正要望書を作成し、政府・

与党関係者へ要望した結果、軽油引取税の課税免除の特例措置（漁船）の適用期限の3年延長をはじめ各事項の延長につなげた。

- ・なお、当該予算措置及び税制改正事項については、令和6年2月16日に予算対策協議会・税務委員会合同会議を開催。水産庁漁政課、水産経営課担当官より説明を受け、会員への周知を図った。
- ・その他、6月16日に、水産庁企画課による水産白書の説明会等を開催するなど、会員への情報周知に努めた。
- ・業界内からの幅広い意見を聴取すべく、8月31日、9月1日には関係漁業者団体と、また10月19日には水産女子プロジェクトと意見交換会を実施した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
農林水産大臣表敬	令和5年9月19日	農林水産大臣室
〃	令和5年12月19日	〃
水産白書説明会	令和5年6月16日	本会会議室（WEB）
予算対策協議会	令和5年6月12日	〃
税務委員会	令和5年7月28日	〃
予算対策協議会・税務委員会合同会議	令和6年2月16日	〃
政策・予算要望	令和5年6月15日、8月1日、23日、10月5日、11日、27日、11月1日、6日、12月4日、14日、20日	与党要請
税制要望	令和5年8月23日、11月1日、15日、21日、12月5日	与党要請
立憲民主党税制改正要望ヒアリング	令和5年11月13日	立憲民主党会議室
国民民主党税制調査会	令和5年11月13日	国民民主党会議室
漁船漁業団体との意見交換会	令和5年8月31日、9月1日	本会会議室
水産女子プロジェクトとの意見交換会	令和5年10月19日	〃

### （3）東日本大震災への対応

- ・水産加工業の失われた販路回復対策を目的として、会長出席の下、「東北復興水産加工品商談会2023」を初めてビッグパレットふくしまにて開催（9月26～27日）し、商談会場において6つのセミナーを開催したほか、出展者他に対して事前に10回の販売成約に資するセミナー（7月5日～25日）及びフォローアップセミナー（令和6年3月6日）を実施した。
- ・被災地加工業者やセミナーを「第25回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」（8月23～25日）、第21回シーフードショー大阪」（令和6年2月2



1～22日)に誘致し、販路回復のためのバイヤーとの商談機会を増やす場として提供した。

#### (4) 福島原子力発電所事故関連

・8月24日、福島原発のALPS処理水の海洋への放出が開始され、令和6年2月28日時点で計4回の放出が行われた。原発事故自体を契機とした輸入規制が依然多くの国で残されるなか、中国等による新たな水産物輸出の輸入規制により、ホタテをはじめとする水産加工業者や養殖業者・輸出業者および卸・仲卸などの市場流通業者に少なからぬ影響を及ぼしている。本会としては政府に対し禁輸措置の即時撤廃、風評防止、消費拡大および新たな輸出先の開拓、国内加工体制の強化や、それを裏打ちする抜けのない予算面での支援を要請した。また政府が風評対策として措置した総額1,007億円の支援パッケージを様々なチャンネルを通じて周知に努めるとともに、本会名で国産水産物の安全性についての政府の取り組みについてまとめたパンフレットを作成し、本会HPに掲示した。その他日中、日韓、日中韓の民間協議やICFA(国際水産団体連合)年次総会において関係国の水産団体への日本産水産物の安全性を訴えていくとともに、政府による支援策も活用し、東北復興水産加工品展示商談会への協力やシーフードショーへの被災地からの出展者誘致による商談機会の提供等により、国内外での風評払拭、消費拡大に向け努力を続けていく。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
東北復興水産加工品オンライン商談会	令和5年7月5日～6日	八戸、宮古
2023事前セミナー	令和5年7月12日～14日	大船渡、気仙沼、石巻
	令和5年7月19日～20日	塩釜、仙台、いわき
	令和5年7月24日～25日	福島、波崎
フォローアップセミナー	令和6年3月6日	仙台市
東北復興水産加工品オンライン商談会2023	令和5年9月26～27日	郡山市
第25回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー	令和5年8月23～25日	東京ビッグサイト
ICFA年次総会	令和5年10月23日	イタリア・ローマ

#### (5) 令和6年能登半島地震への対応

・令和6年元日に発生した能登半島地震では、最大震度7の地震による沿岸部の大きな地殻変動に加え、直後の津波が石川県をはじめ周辺地域の漁業・水産加工業等の

水産業に甚大な被害を与えた。本会としては1月4日に震災対策本部を設置し、水産庁が被災地に派遣した取締調査船に積載する支援物資を募り、食品や生活必需品を迅速に被災地へと届けた。

- ・1月11日には第1回対策本部を開催し、被災地の情報収集及び関係団体からの要望を聴取・取り纏め、要望書として1月15日に水産庁長官、農林水産省総括審議官に対し水産業再生復興緊急要請とした。
- ・1月12日には募金活動を開始し、集まった募金については3月末で集計し、水産業に関係の深い市町村に対し、支援のための寄付を行う予定。
- ・1月30日、第2回となる対策本部会議を JF 全漁連対策本部と合同で開催し、政府が措置した「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ」について、水産庁漁政部、農林水産省新事業・食品産業部の担当官より説明を受けた。
- ・「第21回シーフードショー大阪」（2月21日～22日、ATC ホール）において、石川県ブースを設置し、被災地で水揚げされた水産物の試食も含め、石川県の水産物をアピールすると共に、被災地の状況などをパネル展示した。
- ・本会としては、東日本大震災の被災地の販路回復と併せて、引続き震災復興支援に尽力していく。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
令和6年能登半島地震対策本部設置	令和6年1月4日	
第1回能登半島地震対策本部会議	令和6年1月11日	本会会議室（WEB）
令和6年能登半島地震対策本部合同会議	令和6年1月30日	〃
水産業再生復興緊急要請	令和6年1月15日	水産庁長官、 農林水産審議官 与党要請
被災支援物資手配	令和6年1月10日・12日	福岡・境港
令和6年能登半島地震被災支援募金開始	令和6年1月12日	

## （6）令和5年度水産功績者表彰

- ・明治23年を初回とする水産功績者表彰は、本年度で107回を迎え、関係中央団体長からの推薦を中心に35名を銓衡決定し、令和5年11月22日秋篠宮皇嗣殿下にご臨席を賜り、舞立農林水産大臣政務官出席の下、表彰式を挙行了。（明治23年よりの受章者合計3,337名）。

## **(7) 新年賀詞交歓会・国民の祝日「海の日」慶祝行事・シーフードショー開催**

- ・新年賀詞交歓会は令和6年能登半島地震の被災状況に鑑み、1月2日に中止を決定し、その旨関係者に周知した。
- ・全国水産高等学校長協会主催の「全国水産・海洋高校カッターレース全国大会」（7月21日～23日、福岡県福津市、各地区代表14校が参加、優勝：愛知県立三谷水産高等学校）開催に協賛した。また、同会主催の「全国水産・海洋高等学校食品技能コンテスト全国大会」（7月25日～26日、東京海洋大学、各地区代表12校・17名が参加、総合優勝：北海道函館水産高等学校）の開催に協賛した。
- ・「第25回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」（8月23日～25日、東京ビッグサイト）は、コロナ禍からの脱却、ひいては「水産日本の復活」をテーマとして開催した。開会式には、野中農林水産副大臣、西村経済産業大臣が参列し、長峯誠経済産業大臣政務官、勝俣農林副大臣他が会場を視察するなど、出展者数は600の会社・団体、来場者数も23,000人を数え、昨年の約2割強増しの規模となり、大いに盛り上がった。
- ・また、昨年に引き続き「親子おさかな学習会」を2日間にわたり開催し、会場内のスタンプラリーによるブース見学やおさかなゼミの実施、魚食普及関連資料の配布等、消費拡大に向けた啓発活動を行ったほか、セミナー会場においては、JETRO（日本貿易振興機構）との連携による「水産物輸出拡大への取組み～輸出の基礎からHACCPまで～」をテーマとした水産食品輸出関連セミナーや、陸上養殖勉強会などを開催した。
- ・また、JETROの協力により開催した海外バイヤーとの輸出商談会は、多数の来場者を迎えての開催となった。
- ・西日本最大級の食品見本市「第21回シーフードショー大阪」（2月21日～22日、ATCホール）は、水産物需要の回復に向け、「第3回通販食品展示商談会大阪」と同時開催した。出展社数はコロナ前に近い280となり、来場者数は前年比増の約9,700人となった。小学生おさかな学習会を2日間にわたって開催し、大阪市内2小学校の児童約100名を招待し座学と会場内見学を行った。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
第25回全国水産・海洋カッターレース大会 (協賛)	令和5年7月21日～23日	福岡県摂津市
第21回全国水産・海洋高等学校 食品技能コンテスト全国大会(協賛)	令和5年7月25日～26日	東京海洋大学
第25回ジャパン・インターナショナル・ シーフードショー	令和5年8月23～25日 (来場者23,394人)	東京ビッグサイト
令和5年度水産功績者表彰式	令和5年11月22日	赤坂インターシティAIR
新年賀詞交歓会	令和6年1月5日(中止)	
第21回シーフードショー大阪	令和6年2月21～22日 (来場者人9,717人)	ATCホール

### (8) 水産エコラベル制度「マリン・エコラベル・ジャパン (MEL)」の普及

- ・一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会の組織運営に協力するとともに、MELがGSSI (GLOBAL SUSTAINABLE SEAFOOD INITIATIVE) の承認審査(新基準(ベンチマークツール Ver2.0))を受けるにあたり、この業務を支援した。9月21日に新基準となったGSSIによる継続承認を受けた。(承認を世界で2番目に取得した。)
- ・令和5年度日本発の水産エコラベル普及推進事業を活用し、第25回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー並びに第21回シーフードショー大阪会場内に、スキームオーナー及び認証事業者の出展による「水産エコラベルコーナー」を設置したほか、出展が叶わなかったMEL認証事業者の認証商品を展示した「MEL認証商品展示コーナー」を出店し、認知度向上、普及促進・販路拡大に努めた。
- ・また、ジャパン・インターナショナル・シーフードショー開催に合わせてGSSIのリサ・ゴシエ事務局長を招へいし、日本の水産業界の現状に触れてもらうと共に、関係者がGSSIの姿勢や今後の方向性を学ぶため、「MELワークショップ2023」を開催した。
- ・生産段階100件(漁業26件、養殖74件)、流通加工段階164件(令和6年3月末時点)の合計264の事業者が認証されている。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
第25回ジャパン・インターナショナル・ シーフードショー	令和5年8月24～26日	東京ビッグサイト
第21回シーフードショー大阪	令和6年2月21～22日	ATCホール
MELワークショップ2023	令和5年8月23日	東京ビッグサイト

## (9) 広報関係

- ・本会の月刊機関誌である「水産界」では、各種イベントや業界動向、資源・漁業管理制度等の水産政策の動向を掲載するとともに、魚食普及、輸出拡大等本会の活動についての連載記事を企画・編集し、発行した。
- ・2024年版水産手帳を発行した。

事 項	期日・回数等
月刊機関誌「水産界」	1回／月発行
同 編集会議	1回／月開催
2024年版水産手帳	令和5年12月上旬

## 2. 魚食普及推進関係等

民間事業の「おさかな普及協議会」、国庫補助事業の「水産加工・流通構造改善促進事業」、「魚食普及推進事業」及び「円滑化実証等対策事業」により魚食普及関連の活動に努めた。

### (1) おさかな普及協議会

- ・平成24年1月に設立し、11年目を迎えた「おさかな食べようネットワーク」の令和6年3月現在の登録会員数（メルマガ配信先含む）は、合計5,125（前年度末3,730）会員となっている。また、ネットワーク会員向けに各地域の魚食普及活動情報等を掲載した月刊のメールマガジンは、令和6年3月現在で146号の配信に達した。

#### (おさかな食べようネットワーク登録会員数)

内訳	令和6年3月	前年度末
水産会社	409	376
水産関係団体	351	271
個人	2,988	1,917
行政機関	243	204
教育研究機関	556	483
企画・報道・出版関係	254	204
その他法人	236	195
量販・小売	51	48
消費者団体	15	12
NPO法人	22	20
合計	5,125	3,730

### **(HP 上での情報発信)**

令和元年9月にリニューアルした魚食 HP の閲覧数は、これまで年間5～10万程度であったが、閲覧数の分析およびニーズに合わせた記事の継続的な作成により、今年度の年間閲覧数は300万に達し、インターネット検索で上位を占めるようになった。小学生向けの「水産業 for kids」で水産、食育を楽しく伝える他、ニュースの報道や消費者の風評被害が生じた際に正しい情報を発信するツールとしても有効活用しており、メディアからのアクセス、質問も増加した。

### **(魚食普及活動用資料の配布)**

全国からの要望に応え、料理教室や教育関係で使用する料理レシピ集の「お魚便利帳」(5,000部)、小学生向け「おさかな BOOK」(10,000部)、小・中学生以上・教育関係者向け「おさかな食べようネットワーク読本～SDGs とのかかわり～」(2,500部)、魚のおろし方を図示した「小田原魚おろし」(2,000部)、幼児・児童向けの「おさかなぬりえ」(43,000部)・「くじらぬりえ」(48,000部)・「サメぬりえ」(39,000部)「マグロぬりえ」(39,000部)の資料を作成し、それぞれ発送した。

### **(教育機関等における学習会の開催)**

- ・「おさかな学習会」としての出前授業はコロナ禍以前の対面形式に戻り、申し込み件数も増加した。また、活動範囲を広げるために遠隔地からの申し込みに対しては、オンライン授業の実施や動画・資料・プログラムの提供等による授業支援を行った。
- ・体験学習をさせたいとする学校からの強い要望を受け、対面による出前授業を実施した。また次年度以降、学校独自で実施できるよう、使用する鮮魚等の準備を学校に依頼するとともに具体的な手法を伝えている。
- ・全国で教員を主体とする食育授業が行えるように、資料・プログラム及び教材等を提供し、支援した。今後も普及戦略の一つとして提供用教材の充実を図っていく他、今年度作成したさかなクン動画を活用し、教材との相乗効果を狙っていく。
- ・「保育園・幼稚園」においては、教材やプログラムを提供し学習会を支援した。また、都内にて体験型学習会を実施し、1か所で15名の園児が参加した。
- ・「小学校」を対象としたおさかな学習会では、「おさかなゼミ」の座学と試食を伴う「エビ・イカ・鯛の解剖」を中心に、「鮮魚タッチ」や模型を使用した「カツオ一本

釣り」等の体験学習を組み入れて実施し、25カ所合計で約2,240名が参加した。

- ・「中学校」では、講義と併せてイカの解剖、鯛の塩釜焼、アジの解剖等、水産、養殖、SDGsに関する体験学習を実施し、3校で270名が参加した。
- ・「大学」では、昨年度に引き続き、東京海洋大学における「魚食文化論」のうち、4～6月にかけて開催された5講座を本会職員と協力講師が担当し、55名の学生に対して魚食普及に関わる魚食文化の講義を行った。
- ・「公共機関」では、都内の図書館においてイカの解剖等のおさかな学習会を行い、2カ所で48名が参加した。

### **(イベント等での魚食普及活動)**

- ・食育推進全国大会 in 富山（主催：農林水産省）に参加し、食育プログラムの紹介と資料の配布を実施した。
- ・一般社団法人日本海老協会が開催するエビフェス（後援：公益財団法人日本財団）にて、おさかな解剖教室のステージイベントを実施した。
- ・小田原みなと祭り、蒲郡深海魚まつり、エンジョイ魚まつり、東京湾大感謝祭、さかな文化祭、Fish-1グランプリにてステージイベントを担当した。
- ・ニッポン・フード・シフト（主催：農林水産省）、農林水産省消費者の部屋、東京都食育フェアの展示ブースにて資料の配布・説明を実施した。
- ・11月22日の水産功績者表彰式において、各団体からの推薦を受けた5名へ魚食普及活動貢献者感謝状を贈呈した。
- ・豊洲市場において、鯛のプログラム、ホタテのプログラム、ワカメとサザエのプログラムを実施した。
- ・教育機関等での出前授業やイベントについては、NPO 法人銀鱗会、(株)うおいち、一般社団法人日本海老協会、和食文化国民会議、(株)ニチレイフレッシュ、(株)極洋より講師派遣や食材・資料・場所・情報提供の依頼を受け対応した。
- ・ノルウェー大使館主催による日本・ノルウェーサバセミナー2023冬において、魚食普及センター長が日本の魚食普及の取り組みに関して講演した。

事項・内容・開催回数等	期日	場所
おさかな普及協議会推進委員会 (2回開催)	令和5年5月16日 令和5年10月3日	本会会議室 本会会議室
教育機関等における学習会		
保育園等学習会(1回開催)	令和6年1月	東京都
小学校おさかな学習会(25回開催)	令和5年6月～令和6年3月	東京都、愛知県、埼玉県等
中学生対象学習会(3回開催)	令和5年6月～令和6年3月	お茶の水女子大学附属中学校等
高校生対象学習会(1回開催)	令和6年3月	北豊島中学高等学校
大学(5講義開催)	令和5年4～5月	東京海洋大学、相愛大学等
図書館(2回実施)	令和5年8月～令和6年2月	豊洲図書館、戸山図書館
イベント等での魚食普及活動		
エビフェス(日本海老協会主催)	令和5年6月	大阪府 阪急阪神百貨店
食育推進全国大会 in 富山	令和5年6月	富山市 富山産業展示館
和食セッション	令和5年7月	東京都 服部専門学校
小田原みなと祭り	令和5年7月	小田原市 小田原港
日本フードシフト資料配布説明	令和5年9月	東京都 東京駅丸ビル
エンジョイさかなまつり	令和5年9月	東京都 夢の島マリーナ
蒲郡深海魚まつり	令和5年10月	愛知県蒲郡市
東京湾大感謝祭	令和5年10月	横浜市
さかな文化祭	令和5年10月	横浜市
東京都食育フェア	令和5年11月	東京都
日本・ノルウェーサバセミナー	令和5年12月	東京都 ANA インターコンチネタル

### (水産物消費嗜好動向調査)

第66回水産物消費嗜好動向調査「学校給食での水産物消費について ～栄養教諭・学校栄養職員3,000人に聞きました!～」を公益社団法人全国学校栄養士協議会の協力を得てWEB調査にて実施し、協議会会員8,420名の内の約36%の3,040名の回答を得た。学校給食における水産物需要の実情を把握することができ、水産物の調達や供給、活用方法において、どのように支援ができるか、食育にどのように貢献できるか等を考える資料として、水産関係者、また栄養教諭・栄養職員他の学校給食関係者の参考になるものとする。

### (2) 水産加工・流通構造改善促進事業及び魚食普及推進事業

本会、公益社団法人日本水産資源保護協会、公益財団法人水産物安定供給推進機構、全国漁業協同組合連合会の4団体で構成する「国産水産物流通促進センター」が行う「水産加工・流通構造改善促進事業及び魚食普及推進事業」として、以下の活動を行った。



- ・小学校栄養教諭向けのセミナー、広島県尾道市で離乳食に関するセミナー、シーフードショーでの親子おさかな学習会を行った。
- ・10～11月に大阪の相愛大学・樟蔭女子大学において栄養士を目指す学生を対象に料理教室を3回開催し、合計130名の学生が参加した。
- ・上記の他、全国から依頼があった各種資料を増刷・送付した。

### **(3) 円滑化実証等対策事業**

- ・一般財団法人日本鯨類研究所から委託を受け、鯨に関する知識の広範囲な普及を目指し、全国の小学校に対して「くじらニュース」として資料を作成し発送した。

## **3. 海務・労務、国際対策業務等**

### **(1) 漁業労働対策事業の推進**

#### **(漁業就業者確保対策)**

- ・全日本海員組合東北地方支部主催の「第7回東北地区船員教育機関、海運・水産会社等関係者との懇談会」に出席し、意見を述べた。
- ・宮崎県立宮崎海洋高校の2年生に対する漁業ガイダンス、鹿児島県立鹿児島水産高校の2年生に対する漁業・養殖業ガイダンス、宮城県気仙沼向洋高校の1・2年生に対する漁業ガイダンスを開催した。

加えて、宮崎県立宮崎海洋高校の1・2年生に対する進路ガイダンスに出席し、宮崎県漁村活性化推進機構とともに漁船漁業をPRした。

- ・北海道小樽水産高校、宮城県水産高校、静岡県立焼津水産高校、山口県立大津緑洋高校、愛媛県立宇和島水産高校を訪問し、養殖業ガイダンスの開催について高校側と検討し、愛媛県立宇和島水産高校の1・2年生、および、北海道小樽水産高校の1・2年生に対して、単独の養殖業ガイダンスを行った。

#### **(安全対策)**

- ・10月の「漁船安全操業推進月間」に向け、業界の幹事団体となりライフジャケット着用等の安全対策キャンペーンを行い、安全対策の周知に努めた。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
第7回東北地区船員教育機関、海運・水産会社等関係者との懇談会 漁業・養殖業の魅力を伝えるガイダンス	令和5年6月2日	宮城県仙台市
宮崎県立宮崎海洋高校	令和5年6月6日	宮崎県宮崎市
鹿児島県立鹿児島水産高校	令和5年6月30日	鹿児島県枕崎市
宮崎県立宮崎海洋高校	令和5年12月12日	宮崎県宮崎市
愛媛県宇和島水産高校（養殖業）	令和6年1月19日	愛媛県宇和島市
宮城県気仙沼向洋高校	令和6年1月29日	宮城県気仙沼市
北海道小樽水産高校（養殖業）	令和6年3月11日	北海道小樽市

### （外国人受入れ制度の見直し検討）

- ・技能実習制度および特定技能制度の在り方に関する有識者会議のヒアリングにおいて、漁業分野の現状について説明した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
「技能実習制度および特定技能制度の在り方に関する有識者会議」におけるヒアリング	令和5年7月13日	本会会議室（WEB）

### （外国人漁業技能実習）

#### ○技能実習法に基づく制度運営

- ・技能実習法に基づき水産庁に設置された漁業技能実習事業協議会に構成員および共同事務局として参加し、安全対策等について周知徹底を図った。
- ・政府の有識者会議において、技能実習制度の廃止に向けて議論が行われる中、試験実施機関情報交換会に参加し、他分野の状況について情報を収集した。
- ・技能実習生が入国前および入国後講習、実習期間中等に活用できる日本語教育ツール開発のため、検討会に参加の上、漁業関係職種について提言した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
第8回漁業技能実習事業協議会	令和5年11月10日	農林水産省
第3回、4回 試験実施機関情報交換会	令和5年9月13日、令和6年2月14日	JITCO
技能実習生の技能習得に資する日本語教材の開発事業検討会（3回開催）	令和5年5月29日、8月1日、10月3日	本会会議室（WEB）

## ○漁船漁業職種

・インドネシア人、ベトナム人、フィリピン人技能実習生に対し、漁船漁業職種8作業の初級試験を80回、専門級試験を22回、上級試験を42回実施した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
漁船漁業技能評価試験（初級、80回開催）	令和5年3月～令和6年3月	香美町他
漁船漁業技能評価試験（専門級、22回開催）	令和5年4月～令和6年3月	珠洲市他
漁船漁業技能評価試験（上級、42回開催）	令和5年3月～令和6年3月	新温泉町他
漁船漁業技能評価委員会（13回開催） 合否判定等	令和5年3月～令和6年3月	本会会議室

### 漁船漁業技能評価試験合格者数一覧

試験内容	業種・合格者数									
	かつお 一本釣	延縄	いか 釣り	まき網	ひき網	刺網	定置網	かに・ えびかご	棒受網	合計
初級	60	10	37	140	72	14	43	9	7	392
専門級	—	6	9	65	14	—	20	3	—	117
上級	52	4	26	38	35	—	16	5	—	176
合計	112	20	72	243	121	14	79	17	7	685

## ○養殖業職種

・中国人、インドネシア人、ベトナム人、フィリピン人、モンゴル人、ミャンマー人技能実習生に養殖業職種の初級試験（ホタテガイ試験20回、マガキ試験56回）、専門級試験（ホタテガイ試験4回、マガキ試験20回）、上級試験（ホタテガイ試験3回、マガキ試験21回）を実施した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
養殖業技能評価試験（初級、76回開催）	令和5年3月～令和6年3月	大竹市他
養殖業技能評価試験（専門級、24回開催）	令和5年4月～令和6年3月	江田島市他
養殖業技能評価試験（上級、24回開催）	令和5年3月～令和6年3月	江田島市他
養殖業技能評価委員会（12回開催） 合否判定等	令和5年4月～令和6年3月	本会会議室

## 養殖業技能評価試験合格者数一覧

試験内容	業種・合格者数		
	ホタテガイ	マガキ	合計
初級	171	424	595
専門級	23	152	175
上級	5	107	112
合計	199	683	882

### (新たな外国人受入れ「特定技能」)

- ・漁業分野における派遣事業を利用(現時点では労働基準法適用船のみ派遣利用が可)する受入機関に対し、管理・指導を行う新たな構成員の追加について漁業特定技能協議会で審議が行われ、了承された。
- ・漁業分科会において協議が調った事項(安全性の確保、配乗人数に係る申し合わせ等)に関する措置の周知に努めた。
- ・特定技能制度が5年目を迎え、政府による特定技能2号の分野追加および技能実習制度の本格的な見直しが検討されていることから、実態を把握するため、水産庁と共に県単位で受入れをしている漁協等に対して、現在の状況や課題および今後の方針等についてのヒアリングを行った。
- ・特定技能2号においては、日本語能力の他、管理者としての実務経験が求められることから、受験手続規則について特定技能協議会及び幹事会において協議の上、決定した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
第7、8、9回漁業特定技能協議会幹事会	令和5年4月4日、6月26日、 12月21日	農林水産省
特定技能受入れに関するヒアリング	令和5年5月24日～25日、 7月11日～12日	海士町漁協他
第4、5回漁業特定技能協議会	令和5年5月11日、11月10日	本会会議室(WEB)、 農林水産省

### (「特定技能」制度に対応した漁業技能測定試験事業)

- ・国内およびインドネシアにおいて漁業技能測定試験(漁業・養殖業)を実施し、漁業および養殖業技能判定委員会において合否を判定した。
- ・インドネシアにおける新たな試験実施会場の選定、インドネシア政府と今後の試験実施に対する協力体制について意見を交換した。

- ・令和5年6月9日、閣議決定により特定技能2号の対象分野に漁業が追加されたことから、漁業技能測定試験策定検討会を開催し、試験問題の作成および試行試験等を行った。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
漁業技能測定試験（漁業）	令和5年6月、7月、11月、令和6年2月	インドネシア
漁業技能測定試験（養殖業）	令和5年6月～8月、11月、令和6年2月	日本
	令和5年6月、7月、10月、11月、令和6年2月	インドネシア
	令和5年5月～令和6年2月	日本
漁業技能判定委員会	令和5年6月、7月、12月、令和6年3月	本会会議室
養殖業技能判定委員会	令和5年7月、10月、12月、令和6年3月	本会会議室
インドネシア政府と意見交換	令和5年5月15日～19日	インドネシア
漁業技能測定試験策定検討会（4回）	令和5年5月～11月	本会会議室
特定技能2号試行試験	令和5年8月～11月	鳥取県他

### （「特定技能」制度に対応した外国人材受入支援事業）

- ・漁業に従事する外国人を地域社会に円滑に受入れ、共生を図るための取組みを支援し、水産業を維持・発展していくことを目的とした外国人材受入支援事業を実施した。
- ・外国人材受入支援事業運営協議会を開催し、申請者より提出された外国人材の受入れ支援事業計画書について承認し、助成金を交付した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
外国人材の受入れ支援事業計画書	令和5年4月27日～5月31日	
外国人材受入支援事業運営協議会（書面開催）	令和5年6月	

## （2）海務・労務関係対策の推進

### （国際条約・制度関係）

- ・トレモリノス条約ケープタウン協定の国内法制化およびIMOに対して協定加入のための寄託が実施された旨、漁業団体に周知した。
- ・官労使によるSTCW-F条約国内法制化検討会の議論を踏まえ、同条約を批准するとした場合における影響調査を実施した。また、これに関連し、北部太平洋まき網漁業協同組合連合会の要望に基づき、大中型まき網漁業団体に対して改正STCW-F条約の概要説明会を実施した。
- ・国土交通省が立ち上げた「衛生用品表の見直しに関するワーキンググループ」に

委員として参加し、船員法にて定められている衛生用品表の見直し作業を行った。

- ・日本かつお・まぐろ漁業協同組合、一般社団法人全国遠洋かつお・まぐろ漁業者協会、一般社団法人全国近海かつお・まぐろ漁業協会、一般社団法人全国いか釣り漁業協会、一般社団法人日本トロール底魚協会からの要望に基づき、全日本海員組合とともに船舶職員法第20条特例（国際トン数特例）の延長要望を実施。結果、条件付きにて3年間の特例延長が実現した。

### （その他）

- ・全国的に洋上風力発電の取組みが活発になって来たことを受け、水産庁主催の勉強会に参加して情報収集、意見を述べた。加えて、今後、洋上風力発電が沖合域に展開されることが予想されることから、一般社団法人全国底曳網漁業連合会の要望を受け、「洋上風力発電に関する近海・沖合漁業団体間における意見交換会」を開催した。
- ・内閣府ほか政府関係者出席の下、業種別漁業団体に対する「排他的経済水域における洋上風力発電の展開等に関する説明会」を開催した。また、説明会終了後には、沖合域での洋上風力発電の展開等に関する業種別漁業団体の意見を集約し、国に対して意見書を提出した。
- ・海底直流送電の整備計画や海底ケーブルの新規敷設・修理工事計画について、国または事業者と打合せの上、一般社団法人全国漁業無線協会と協力しつつ、漁業者に対して計画の周知に努めた。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
海上特別委員会	令和5年5月9日	本会会議室（WEB）
海務・労務専門委員会（6回開催）	令和5年4月25日	本会会議室（WEB）
トレモリノス条約ケープタウン協定、STCW-F条約、SOLAS条約、洋上風力発電、海底直流送電、二酸化炭素地底貯留、育児・介護休業法、漁業系プラスチックごみ対策、衛星携帯電話サービス、海洋調査連絡調整等	令和5年8月28日 令和5年11月14日 令和6年1月15日	
STCW-F条約国内法制化検討会	令和6年3月15日 令和5年6月29日 令和5年11月7日 令和6年1月31日	本会会議室（WEB）
ILO 漁業労働条約勉強会	令和6年3月14日	水産庁
海事の国際的動向に関する調査研究委員会	令和5年4月～令和6年1月	海事センタービルほか
次世代航海設備検討プロジェクトSG会議	令和5年4月～令和6年3月	本会会議室（WEB）
衛生用品表の見直しに関するワーキンググループ	令和5年8月～令和6年1月	本会会議室（WEB）

洋上風力発電に係る水産関係者勉強会	令和5年6月28日	本会会議室 (WEB)
洋上風力発電に関する近海・沖合漁業団体間における意見交換会	令和5年9月～令和6年1月	本会会議室ほか
排他的経済水域における洋上風力発電の展開等に関する説明会	令和6年1月16日	本会会議室 (WEB)
排他的経済水域における洋上風力発電の展開等に関する意見書の提出及び意見交換について	令和6年2月7日 令和6年2月19日 令和6年3月19日	本会会議室 (WEB)
海外漁業船員労使協議会		
運営委員会並びに現地調査	令和5年5月15日	沖縄県那覇市
運営委員会	令和5年6月23日	海外漁業船員労使協議会 (海船協)
海外労働事情調査	令和5年8月24日	インドネシア・ジャカルタ
運営委員会	令和5年10月13日	海船協
	令和5年12月6日	宮城県塩釜市
GMDSS 漁船安全管理委員会 (月1回)	令和5年4月～令和6年3月	海船協
マルシップ管理委員会 (月1回)	令和5年4月～令和6年3月	海船協

### (3) 漁業経営安定対策関連

- ・担い手代船取得支援リース事業については、計画通り3隻のリース船に対し助成金を交付した。
- ・田後漁協1隻に関して、水産庁より助成中止命令が下され、助成額に不用見込みが発生したため、12月に国庫返納となった。

事 項	内容・場所等	
担い手代船取得支援リース事業 リース料助成	3隻、約780万円	鳥取県漁協、田後漁協

### (4) 水産高校卒業生を対象とした海技士養成事業

- ・受講生9名に対する管理事業を実施した。4級・5級の乗船実習に必要となる教材調達、個人賠償保険の案内・手続きを行いつつ、関係者との連絡調整に努め、9名とも無事に乗船実習を修了するに至った。
- ・来年度の受講生募集については、4級・5級船舶職員養成課程を有する水産高校、本事業への参加に興味を持つ船主に対して、広く周知した結果、7名の水産高校新卒者を来年度乗船実習コース受講生として選定するに至った。
- ・また、4級海技士養成課程を有する宮崎県立宮崎海洋高校3年生や全国遠洋かつお・

まぐろ漁業者協会の会員、大津漁業協同組合および同組合所属の漁業会社担当者に対して来年度養成コースの概要説明会を開催した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
(受講生募集事業) 海技士養成コース受講生募集に関する打合せ (漁業会社、水産高校等) 海技士養成コース受講生募集説明会	令和5年5月～令和6年3月	宮城県気仙沼市他
宮崎県立宮崎海洋高校	令和5年6月6日	宮崎県宮崎市
全国遠洋かつお・まぐろ漁業者協会	令和5年6月16日	東京都千代田区
大津漁業協同組合	令和5年7月25日	茨城県北茨城市
(受講生管理事業) 海技士養成コース受講生との打合せ	令和5年4月～11月	広島県尾道市他
海技士養成事業に関する打合せ	令和5年5月～令和6年3月	宮城県気仙沼市他

#### (5) 海技士確保支援事業

- ・海技士になるために必要な各種講習を受講した漁船乗組員を雇用する漁業会社への費用助成について、昨年度に引き続き漁業団体への事業周知に加えて、申請を受理した案件について助成を行った。
- ・水産大学校・乗船実習コースに実習生を派遣した漁業会社に対して、当該実習生の代替船員となる海技士（機関）確保に要した掛かり増し経費を助成した。

#### (6) 国際対策会議、多国間、資源管理関係

- ・国際対策委員会を、ICFA（国際水産団体連合）年次会合の対応や違法漁業防止寄港国措置協定（PSMA）の状況、ワシントン条約（CITES）附属書Ⅱに掲載されたヨシキリザメ等の輸出手続きについてなどの情報提供と意見交換を主として、5回開催した。
- ・10月23日～25日には、イタリア・ローマにおいて行われたICFA年次総会に本会相談役が出席し、ALPS処理水の海洋放出に伴い、中国などが実施している科学的根拠に基づかない輸入規制は容認できないことを主張、当該内容を盛り込んだICFA決議を採択すべき旨提案し、12月に決議を採択した。また、東日本大震災からの復興状況について説明したほか、MELの近況報告ならびにジャパン・インターナショナル・シーフードショーへの参加を勧誘した。
- ・12月5日、2025年にフランス・ニースで開催される第3回国連海洋会議に備える駐日フランス大使の要請により、日本の水産業について紹介し意見を交換した。



- ・ 12月7日、ノルウェー首相の来日に随行する水産関係団体と日本の水産関係団体との間で意見を交換した。また、翌8日にノルウェー大使館主催の日本・サバセミナー2023冬において、専務が改正された漁業法の下での資源管理の進捗と課題について講演した。
- ・ 1月24日、ウズベキスタン水産会会長が来会し、養殖業の技術協力等について意見を交換した。
- ・ 3月6日、トルコのエーゲ輸出機構の要請を受け、トルコ産水産物の対日輸出に関し関係者と意見を交換した。
- ・ 新資源管理導入円滑化等推進事業においては、2022年に八代海・有明海等で発生した赤潮の被害を受けた養殖業者による漁業環境調査を支援する「八代海・有明海等赤潮対策緊急支援事業」を新たに開始し、混獲回避型休漁支援事業を含め68の漁業協同組合等に対し、交付決定した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
国際対策委員会（5回開催）	令和5年5月26日 令和5年8月1日 令和5年10月18日 令和5年12月11日 令和6年3月7日	本会会議室（WEB） 本会会議室（WEB） 本会会議室（WEB） 本会会議室（WEB） 本会会議室（WEB）
東アジア漁業特別委員会	令和5年5月22日	本会会議室（WEB）
ICFA年次会合	令和5年10月23日～25日	イタリア・ローマ
駐日フランス大使との意見交換	令和5年12月5日	フランス大使公邸
ノルウェー水産関係団体との意見交換	令和5年12月7日	ANA インターコンチネンタル
日本・ノルウェーサバセミナー2023冬	令和5年12月8日	ANA インターコンチネンタル
ウズベキスタン水産会との意見交換	令和6年1月24日	本会会議室
エーゲ輸出機構との意見交換	令和6年3月6日	本会会議室

## （7）民間団体協議等

- ・ 韓国関係については、本会会長と韓国水産会会長との間で日韓民間漁業協議会を開催し、2023年の民間交流実施状況について意見を交換したほか、日本産水産物の輸入規制措置の早期撤廃を要請した。また、本会参与と韓国水産会専務理事による少人数の団体間協議を開催したほか、両国のいか釣り、まき網の個別業種団体間においても協議した。
- ・ 中国関係については、東シナ海における操業トラブル対策について水産庁等と意見を交換したほか、日本産水産物の輸入規制措置の早期撤廃を求める活動をした。ま

た、中国まき網漁船員の急病に際し、関係機関への連絡を行うなど、協力覚書に基づき迅速に対応した。

- ・台湾関係については、本会参与と中華民国全国漁会総幹事との間で日台民間漁業協議会を開催し、海上事故処理制度の運用等について意見を交換したほか、まき網漁業の操業実態調査を行った。
- ・日中韓三カ国の水産団体による民間漁業協議会を開催し、本会会長と中国漁業協会及び韓国水産会の会長との間で操業秩序維持、海上事故防止、資源管理等について協議をした。また、日本側より ALPS 処理水の海洋放出について説明し、三国の水産貿易を円滑に行うために中韓両国の輸入規制措置撤廃を要請した。
- ・ロシア関係については、日ロ漁業合同委員会及び日ロ漁業委員会に参加したほか、日ロ地先沖合協定に関わる対ロ機材供与協力事業について、ロシアのウクライナ侵攻に伴う経済制裁の影響で滞っていた協力費の送金を完了した。また、ロシア連邦 200 海里水域における流し網漁禁止に伴う、代替漁法の開発について情報収集を行うとともに、関係者と意見を交換した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
韓国関係		
日韓民間いか釣り漁業協議	令和5年4月12日	韓国・済州
日韓まき網漁業者当事者間協議(事務局会議)	令和5年9月14日	韓国・ソウル
日韓民間漁業者団体間協議少人数会議	令和5年10月5日	名古屋市
日韓民間漁業協議会	令和5年12月6日	韓国・西帰浦
日韓まき網漁業者当事者間協議	令和5年12月7日	韓国・釜山
台湾関係		
日台民間漁業協議会	令和5年11月7日	札幌市
日台まき網操業実態調査	令和6年2月20日～21日	台湾・蘇澳鎮
日中韓三カ国関係		
日中韓民間漁業協議会	令和5年10月25日	中国・寧波
ロシア関係		
日ロ漁業合同委員会 第39回会議	令和5年3月20日～24日	ロシア (WEB)
日ロ漁業合同委員会 第40回会議	令和6年3月11日～14日	ロシア (WEB)
日ロ漁業委員会 第40回会議	令和5年11月27日～12月6日	ロシア (WEB)

## （８）持続的海洋水産資源利用体制確立事業

・持続的海洋水産資源利用体制確立事業において、公益財団法人海外漁業協力財団と連携し、国際的な水産資源に関する持続的利用を促進するため、関係国漁業者等との間でワークショップ（WS）を９回開催した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
事業検討会（５回開催）	令和５年４月１９日 令和５年６月６日 令和５年８月１８日 令和５年１１月２８日 令和６年２月５日	本会会議室 本会会議室 本会会議室 本会会議室 本会会議室
水産資源持続的利用 WS		
スペイン WS	令和５年４月２５日～２６日	スペイン・バルセロナ
韓国 WS	令和５年４月２７日	韓国・ソウル
台湾 WS	令和５年６月２６日～２７日	台湾・台北
中国 WS	令和５年７月５日～６日	中国・舟山
インドネシア WS	令和５年７月１８日	インドネシア・パダン
ノルウェー WS	令和５年９月２５日～２６日	ノルウェー・トロンハイム
イタリア WS	令和５年１０月２３日～２５日	イタリア・ローマ
チリ WS	令和５年１２月１８日、２０日	チリ・タカワノ、プンタアレナス
中国 WS	令和６年３月１３日～１４日	中国・福州

## ４．輸出促進、水産食品安全対策、加工流通対策等

### （１）水産物輸出関連対策

#### （水産物・水産加工品輸出拡大協議会）

- ・本会が事務局になり関係団体とともに設立した「水産物・水産加工品輸出拡大協議会」（会員１３団体）が行う輸出事業者サポート強化事業（分野・テーマ別海外販路開拓支援の強化：令和４年度補正予算補助事業）及び戦略的輸出拡大サポート事業（分野・テーマ別海外販路開拓対策事業：令和５年度当初予算補助事業）による活動を実施した。
- ・農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略（令和２年１２月）に基づき、ブリ、タイ、ホタテ貝、真珠、錦鯉等の輸出重点品目が選定され、これらの輸出促進のための団体（品目団体）が立ち上がったことから、上記補助事業により、輸出重点品目以外の品目についての PR 活動をした。

- ・また、本会輸出促進室独自で、近隣国での展示会にて日本産水産物のPR活動等を行った。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
<ジェットロ補助事業による活動> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福州国際漁業博覧会への出展・販売促進活動（出展、セミナー開催：全国養殖魚輸出振興協議会）</li> <li>・FOOD&amp;HOTEL MALAYSIA2023 への出展（出展：全国養殖魚輸出振興協議会）</li> <li>・日本産フグのセミナー、調理実習、試食会・商談会（セミナー等開催：国際ふぐ協会）</li> <li>・日本産水産物オンライン産地・产品介绍セミナー（オンラインによる商品説明会：協議会事務局）</li> <li>・シンガポールにおける日本産水産物紹介セミナーの開催・販売促進活動（セミナー開催：全漁連）</li> <li>・台湾における日本産水産物紹介セミナーの開催・販売促進活動（セミナー開催：全漁連）</li> <li>・JAPAN SELECTION への出展（出展：全国養殖魚輸出振興協議会）</li> </ul>	令和5年5～6月 令和5年9月 令和5年10月 令和5年11月、令和6年1月（2回開催） 令和5年11月 令和5年12月 令和6年1月	中国・福州 マレーシア・クアラルンプール シンガポール 東京（WEB） シンガポール 台湾・台北 タイ・バンコク
<本会独自による活動> <ul style="list-style-type: none"> <li>・World Food Expo での日本産水産物のPR活動</li> <li>・台湾国際海洋・漁業産業展 2023 での日本産水産物のPR活動</li> <li>・釜山国際水産博覧会での日本産水産物のPR活動</li> <li>・沖縄大交易会 2023 での日本産水産物のPR活動</li> <li>・マレーシア、シンガポールでの日本産フグ等のPR活動（下関市、国際ふぐ協会への協力実施）</li> <li>・Japan Vietnam Festival での日本産水産物のPR活動</li> </ul>	令和5年8月 令和5年9月 令和5年11月 令和5年11月 令和5年11月 令和6年3月	フィリピン・マニラ 台湾・台北 韓国・釜山 沖縄県・宜野湾市 マレーシア・クアラルンプール、シンガポール ベトナム・ホーチミン

## （２）水産食品品質確保対策

### （委員会・セミナー関係）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度の水産食品品質高度化協議会は参加人数を絞って開催した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
第27回水産食品品質高度化協議会	令和5年5月10日	本会会議室

### (講習会・HACCP支援法関係)

- ・FDA方式のHACCP講習会(3日間)を21回開催し、HACCP導入を指向する水産加工業者等に対し、技術支援した(受講者690名)。
- ・HACCP方式導入を促進するための金融措置である「食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法(HACCP支援法)」については、本会が指定認定機関として、認定を希望する施設に対して支援してきたが、同法の規定により令和5年6月30日に失効し、株式会社日本政策金融公庫による食品産業品質高度化促進資金の融通に関する措置要綱は廃止された。

### (HACCP認定加速化支援事業)

- ・HACCP認定加速化支援事業(補助事業)において「HACCP認定加速化支援センター」が行う水産加工場品質・衛生管理指導について、水産食品の品質・衛生管理レベルの向上を目指した講習会や専門家による現地指導事業を実施した。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
一般的衛生管理講習会 (4回開催)	令和5年8月～令和6年3月	東京都、浦添市他
SCP&SSOP講習会 (6回開催)	令和5年6月～令和6年3月	東京都、札幌市他
HACCP講習会(第269～289回) (21回開催)	令和5年5月～令和6年3月	静岡市、塩釜市他
現地指導(254回指導)	令和5年5月～令和6年3月	八戸市、宇和島市他

(HACCP認定)・対米輸出 HACCP 認定制度及び国内認定制度においては、一般社団法人日本食品認定機構の審査に協力し、41件の新規認定となった。令和6年3月末の認定施設は516施設となった。

事項	認定件数
新規認定審査	41件
更新認定審査	234件

(令和6年3月末現在)

### (EU・HACCP認定)

- ・農林水産省のEU向け輸出水産食品取扱施設認定のスクリーニング機関として認定された一般社団法人日本食品認定機構に協力し、EU向け輸出水産食品取扱施設認定を申請した12件の水産加工場に対して、書類審査及び現地調査のスクリーニングを実施した。
- ・農林水産省によるEU向け輸出水産食品取扱施設は、令和6年3月末現在71施設となった。

事項・内容等	期日・回数等	場所等
スクリーニング判定委員会（6回開催）	令和5年 4月 6日	本会会議室
	令和5年 4月27日	本会会議室
	令和5年 6月 9日	本会会議室
	令和5年 7月 5日	本会会議室
	令和5年11月13日	本会会議室
	令和6年 2月13日	本会会議室

### (EU・HACCP認定施設指導・監視事業)

- ・一般社団法人日本食品認定機構が受託した輸出環境整備推進委託事業におけるEU・HACCP認定施設の指導・監視事業に協力し、EU・HACCP認定の65施設に対して189回の定期監視及び26施設に対して102回の輸出荷口検査を実施した。

#### 定期監視実績

調査対象施設	所在地	種別	実施日		
(株)南伸商	静岡県焼津市	加工施設	4月12日	8月22日	3月11日
焼津漁業協同組合 外港冷蔵庫	静岡県焼津市	保管庫	4月19日	8月 3日	12月 5日
(株)明豊 第一冷蔵庫	宮城県塩釜市	保管庫	4月28日	8月25日	12月 6日
(株)高政 石浜工場	宮城県牡鹿郡	保管庫	5月 2日	8月 1日	1月15日
(株)築地フレッシュ丸都	東京都中央区	加工施設	5月 9日	8月 1日	1月16日
地方卸売市場 塩竈市魚市場	宮城県塩竈市	産地市場	5月10日	9月 8日	1月12日
(株)ヤマシ 浜町埠頭冷蔵庫	青森県青森市	保管庫	5月10日	11月 7日	3月 5日
イヨスイ(株)	愛媛県宇和島市	加工施設	5月12日	10月 6日	3月 1日
鈴廣かまぼこ(株) 恵水工場	神奈川県小田原市	加工施設	5月15日	10月 6日	2月27日
(株)マルヨシ 第2工場	静岡県焼津市	加工施設	5月22日	9月29日	2月 8日
大坪水産(株) 本社工場	静岡県焼津市	加工施設	5月23日	9月14日	2月22日
(株)カネジョウ大崎	千葉県銚子市	加工施設	5月25日	9月27日	2月15日

(株)新丸正	静岡県焼津市	加工施設	5月30日	9月26日	1月31日
紋別漁業協同組合 製氷冷凍工場	北海道紋別市	加工施設	6月 2日	10月19日	1月30日
(株)紀文食品 横浜工場	神奈川県横浜市	加工施設	6月 6日	11月13日	2月27日
K T M(株)	鹿児島県枕崎市	加工施設	6月 7日	10月11日	2月 6日
(株)枕崎冷凍食品	鹿児島県枕崎市	加工施設	6月 8日	10月12日	2月 7日
(株)マルイチ横浜	青森県野辺地町	加工施設	6月 8日	10月 5日	2月20日
クボタフーズ(株)	青森県平内町	加工施設	6月 9日	10月 6日	2月19日
共同冷蔵(株) 大井物流センター	神奈川県足柄上郡	保管庫	6月 9日	10月20日	2月20日
秀長水産(株)	愛媛県宇和島市	加工施設	6月 9日	9月29日	2月22日
武輪水産(株)第三工場	青森県八戸市	加工施設	6月 9日	11月 6日	3月14日
(株)エンデバー 福岡冷蔵庫	福岡県古賀市	保管庫	6月12日	10月25日	2月26日
(株)海千	福岡県宗像市	加工施設	6月19日	11月15日	2月16日
鈴廣かまぼこ(株) F P 工場	神奈川県小田原市	加工施設	6月19日	10月19日	3月 4日
(株)平松食品	愛知県豊川市	加工施設	6月19日	10月11日	2月28日
(株)明豊	宮城県塩釜市	加工施設	6月19日	11月16日	3月 5日
(株)山神 本社工場、第二工場	青森県青森市	加工施設	6月19日	10月 2日	2月13日
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	和歌山県海南市	加工施設	6月20日	10月31日	2月20日
(有)北福海産	青森県東津軽郡	加工施設	6月21日	10月25日	2月22日
(株)泰興商事サリクコース	宮城県気仙沼市	加工施設	6月21日	10月19日	3月 6日
(株)泰興商事サリクコース 自動冷凍倉庫	宮城県気仙沼市	保管庫	6月21日	10月19日	3月 6日
山福水産(株)	静岡県焼津市	加工施設	6月22日	10月26日	1月30日
大協建工(株) 東かがわ・つばさキャビアセンター	香川県東かがわ市	加工施設	6月22日	9月13日	2月28日
東洋冷蔵フード&ロジスティクス(株)本社工場	静岡県静岡市	加工施設	6月22日	10月31日	3月 6日
東洋冷蔵フード&ロジスティクス(株)第二冷蔵庫	静岡県静岡市	保管庫	6月22日	10月31日	3月 6日
前田海産(株)	山口県下関市	加工施設	6月23日	10月 3日	2月27日
丸啓鯉節(株)	静岡県御前崎市	加工施設	6月23日	10月27日	1月31日
(株)海神貿易 九州支部	熊本県天草市	加工施設	6月26日	10月24日	3月 8日
国広水産(株)	広島県尾道市	加工施設	6月28日	10月24日	3月13日
尾道冷凍工業(株)	広島県尾道市	加工施設	6月29日	10月25日	3月14日
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	愛媛県宇和島市	加工施設	7月 4日	10月19日	2月21日
(株)みうらや	茨城県神栖市	加工施設	7月 4日	11月10日	3月 6日
福島鯉(株)京都南丹工場	京都府南丹市	加工施設	7月 4日	11月15日	2月 9日
(株)トウスイ	茨城県神栖市	加工施設	7月 5日	11月 9日	3月 5日
(株)カネシメイチ 本社冷蔵庫	宮城県気仙沼市	加工施設	7月 6日	11月 8日	3月 7日
(株)紀文西日本 岡山総社工場	岡山県総社市	加工施設	7月 6日	11月17日	2月22日
丸市食品(株)	福井県福井市	加工施設	7月 6日	11月14日	2月 8日
松浦市地方卸売市場松浦魚市場	長崎県松浦市	産地市場	7月13日	11月 8日	2月21日

日本遠洋旋網漁業協同組合 松浦第一製氷冷凍工場	長崎県松浦市	加工施設	7月14日	11月 7日	2月20日
(株)ANA ケータリングサービス 川崎工場	神奈川県川崎市	加工施設	7月14日	11月17日	3月 7日
(株)ANA ケータリングサービス 成田工場	千葉県成田市	加工施設	7月18日	11月14日	3月 4日
(株)丸イ佐藤海産	北海道別海町	加工施設	7月18日	11月28日	2月27日
極洋水産(株)大井川工場	静岡県焼津市	加工施設	7月19日	11月29日	2月20日
新宮港埠頭(株)	和歌山県新宮市	加工施設	7月20日	(認定中止)	—
(有)橋口水産	長崎県長崎市	加工施設	7月20日	11月27日	3月 7日
対馬水産(株) 対馬工場	長崎県対馬市	加工施設	7月21日	11月28日	3月 8日
(株)食縁フードテック (旧(株)食縁)	和歌山県新宮市	加工施設	7月21日	11月17日	3月 1日
山菱水産(株)	福島県いわき市	加工施設	7月21日	11月17日	3月13日
大栄フーズ(株)千葉香取工場	千葉県香取市	加工施設	7月26日	11月 7日	2月21日
福一漁業(株)福一・西島コールドストレージ	静岡県焼津市	加工施設	7月26日	11月30日	3月 8日
福一漁業(株)福一・大井川コールドストレージ	静岡県焼津市	保管庫	7月26日	11月30日	3月 8日
スルガ東洋(株)	静岡県焼津市	加工施設	—	8月18日	1月25日
(株)枕崎超低温	鹿児島県枕崎市	加工施設	—	10月13日	3月 8日
(株)エスディハチカン	青森県八戸市	加工施設	—	—	12月19日

## 輸出荷口検査実績

調査対象施設	実施日	検査員
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	4月 3日	(一財) 日本食品検査
(株)ダイニチ海南シーフードセンター	4月 7日	環境衛生薬品(株)
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	4月12日	(一財) 食品環境検査協会
東洋冷蔵フード&ロジスティクス(株) 本社工場	4月18日	(一財) 食品環境検査協会
(株)食縁フードテック (旧(株)食縁)	4月19日	環境衛生薬品(株)
(株)海神貿易	4月20日	(一財) 日本食品検査
(株)ANA ケータリングサービス 成田工場	4月25日	(一財) 日本食品検査
(有)橋口水産	4月28日	(一財) 日本食品検査
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	5月 9日	(一財) 日本食品検査
(株)ダイニチ海南シーフードセンター	5月15日	環境衛生薬品(株)
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	5月16日	(一財) 食品環境検査協会
(株)トウスイ	5月16日	(一財) 日本食品検査
紋別漁業協同組合 製氷冷凍工場	5月23日	(一財) 日本食品検査
(株)食縁フードテック (旧(株)食縁)	5月29日	環境衛生薬品(株)
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	6月 1日	(一財) 日本食品検査
(株)明豊	6月12日	(一財) 日本食品検査
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	6月13日	(一財) 食品環境検査協会



(株)ダイニチ海南シーフードセンター	6月19日	環境衛生薬品(株)
東洋冷蔵フード&ロジスティクス(株) 本社工場	6月20日	(一財) 食品環境検査協会
対馬水産(株) 対馬工場	6月23日	(一財) 日本食品検査
(株)ANA ケータリングサービス 成田工場	6月29日	(一財) 日本食品検査
福島鯉(株) 京都南丹工場	6月30日	(一財) 日本食品検査
(株)明豊	7月 3日	(一財) 日本食品検査
(株)明豊 第一冷蔵庫	7月 3日	(一財) 日本食品検査
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	7月 6日	(一財) 日本食品検査
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	7月11日	(一財) 食品環境検査協会
大栄フーズ(株) 千葉香取工場	7月13日	(一財) 日本食品検査
(株)明豊	7月14日	(一財) 日本食品検査
前田海産(株) 本社工場	7月14日	(一財) 日本食品検査
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	7月14日	環境衛生薬品(株)
国広水産(株)	7月24日	(一財) 日本食品検査
(株)新丸正	7月27日	(一財) 食品環境検査協会
(株)ANA ケータリングサービス 成田工場	7月31日	(一財) 日本食品検査
対馬水産(株) 対馬工場	8月 3日	(一財) 日本食品検査
(株)明豊 第一冷蔵庫	8月 7日	(一財) 日本食品検査
国広水産(株)	8月 9日	(一財) 日本食品検査
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	8月10日	(一財) 日本食品検査
山福水産(株)	8月10日	(一財) 食品環境検査協会
イヨスイ(株)	8月18日	(一財) 日本食品検査
対馬水産(株) 対馬工場	8月21日	(一財) 日本食品検査
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	8月21日	環境衛生薬品(株)
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	8月23日	(一財) 食品環境検査協会
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	9月 7日	(一財) 日本食品検査
対馬水産(株) 対馬工場	9月 8日	(一財) 日本食品検査
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	9月 8日	環境衛生薬品(株)
秀長水産(株)	9月13日	(一財) 日本食品検査
(株)ANA ケータリングサービス 成田工場	9月25日	(一財) 日本食品検査
対馬水産(株) 対馬工場	9月25日	(一財) 日本食品検査
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	10月12日	(一財) 日本食品検査
(株)新丸正	10月13日	(一財) 食品環境検査協会
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	10月13日	環境衛生薬品(株)
(株)山神	10月25日	(一財) 青森県薬剤師会
対馬水産(株) 対馬工場	10月26日	(一財) 日本食品検査
イヨスイ(株)	10月30日	(一財) 日本食品検査
(株)ANA ケータリングサービス 成田工場	11月 6日	(一財) 日本食品検査

(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	11月10日	環境衛生薬品(株)
(株)明豊 第一冷蔵庫	11月11日	(一財)日本食品検査
前田海産(株) 本社工場	11月13日	(一財)日本食品検査
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	11月16日	(一財)日本食品検査
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	11月17日	(一財)食品環境検査協会
対馬水産(株) 対馬工場	11月22日	(一財)日本食品検査
イヨスイ(株)	12月 1日	(一財)日本食品検査
(株)食縁フードテック	12月 2日	環境衛生薬品(株)
(株)明豊	12月 4日	(一財)日本食品検査
鈴廣かまぼこ(株)	12月 5日	(一財)日本食品検査
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	12月 6日	(一財)食品環境検査協会
森松水産冷凍(株)	12月 6日	(一財)日本食品検査
前田海産(株) 本社工場	12月 8日	(一財)日本食品検査
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	12月 8日	環境衛生薬品(株)
(株)山神	12月 8日	(一財)青森県薬剤師会
(株)明豊 第一冷蔵庫	12月14日	(一財)日本食品検査
国広水産(株)	12月20日	(一財)日本食品検査
(株)明豊	12月22日	(一財)日本食品検査
森松水産冷凍(株)	12月22日	(一財)日本食品検査
(有)橋口水産	12月25日	(一財)日本食品検査
対馬水産(株) 対馬工場	12月27日	(一財)日本食品検査
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	1月 9日	(一財)食品環境検査協会
(株)ANA ケータリングサービス 成田工場	1月 9日	(一財)日本食品検査
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	1月11日	(一財)日本食品検査
森松水産冷凍(株)	1月11日	(一財)日本食品検査
イヨスイ(株)	1月12日	(一財)日本食品検査
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	1月12日	環境衛生薬品(株)
対馬水産(株) 対馬工場	1月23日	(一財)日本食品検査
(株)山神	1月30日	(一財)青森県薬剤師会
イヨスイ(株)	2月 2日	(一財)日本食品検査
大栄フーズ(株) 千葉香取工場	2月 8日	(一財)日本食品検査
(株)ANA ケータリングサービス 成田工場	2月 8日	(一財)日本食品検査
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	2月 8日	(一財)日本食品検査
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	2月 9日	環境衛生薬品(株)
森松水産冷凍(株)	2月14日	(一財)日本食品検査
(株)泰興商事サンリクフーズ	2月16日	(一財)日本食品検査
山福水産(株) 冷凍食品工場	2月21日	(一財)食品環境検査協会
福一漁業(株) 福一・西島コールドストレージ	2月27日	(一財)食品環境検査協会

(株)南伸商 大井川工場	2月27日	(一財) 食品環境検査協会
イヨスイ(株)	3月 1日	(一財) 日本食品検査
(株)山神	3月 4日	(一財) 青森県薬剤師会
(株)南予ビージョイ 坂下津事業所	3月 7日	(一財) 日本食品検査
イヨスイ(株)	3月 8日	(一財) 日本食品検査
(株)ダイニチ 海南シーフードセンター	3月 8日	環境衛生薬品 (株)
福島鯉(株) 京都南丹工場	3月11日	(一財) 日本食品検査
森松水産冷凍(株)	3月13日	(一財) 日本食品検査
対馬水産(株) 対馬工場	3月21日	(一財) 日本食品検査

### (3) 流通・加工対策

- ・流通の合理化に係る業界への啓発・普及とともに、流通・加工諸問題に関する情報を収集し関係者への提供に努めた。

### (優良衛生品質管理市場・漁港認定制度)

- ・市場・漁港の衛生品質管理の向上のために設けられた優良衛生品質管理市場・漁港認定制度については、1施設が新規に認定を取得し、10施設が認定を更新した。令和6年3月末現在の認定施設は28施設となった。

優良衛生品質管理市場・漁港	取得年月日	商標使用許可
地方卸売市場洋野町営八木魚市場	平成18年 3月 6日	○
地方卸売市場宮古市魚市場	平成18年 3月 6日	
鳥羽磯部漁業協同組合答志集約地方卸売市場	平成18年 6月 9日	
北さつま漁業協同組合地方卸売市場・阿久根漁港	平成21年 1月19日	
太地町漁業協同組合地方卸売市場・太地漁港	平成23年 3月 3日	
すくも湾中央市場地方卸売市場・田ノ浦漁港	平成24年 3月 2日	
地方卸売市場高知県漁業協同組合清水魚市場	平成25年11月 5日	
地方卸売市場高知県漁業協同組合室戸岬魚市場	平成26年 9月24日	○
和歌山東漁業協同組合串本本所	平成27年11月 4日	○
磯崎漁業協同組合荷捌所・磯崎漁港	平成28年 4月12日	○
地方卸売市場大船渡市魚市場	平成28年 4月12日	○
熊野漁業協同組合遊木浦地方卸売市場・熊野市遊木漁港	平成28年 8月22日	○
枕崎市漁業協同組合水産物地方卸売市場 (枕崎漁港高度衛生管理型荷さばき所)	平成28年12月27日	○
与那原・西原町漁業協同組合荷捌き所	平成29年 5月15日	○
南三陸町地方卸売市場	平成30年 1月31日	○
石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 (荷捌室 - 4 定置ゾーン)	平成30年 3月27日	
銚子市漁業協同組合	平成30年 3月27日	○

石巻市水産物地方卸売市場石巻売場（荷捌室 - 2 養殖銀サケゾーン）	平成 30 年 9 月 3 日	
釜石市漁業協同組合連合会	令和 元年 7 月 8 日	
地方卸売市場三沢市魚市場（荷さばき施設・荷さばき施設別棟）	令和 2 年 3 月 23 日	○
石巻市水産物地方卸売市場石巻売場（荷捌室 - 1 陸送・活魚ゾーン、荷捌室 - 1・2 トロールゾーン、荷捌室 - 3 車見本置き場）	令和 2 年 3 月 23 日	
石巻市水産物地方卸売市場石巻売場（荷捌室 - 4 旋網ゾーン）	令和 2 年 9 月 23 日	
石巻市水産物地方卸売市場石巻売場（荷捌室 - 5・6 海外旋網ゾーン）	令和 2 年 12 月 22 日	
奄美漁業協同組合	令和 2 年 12 月 22 日	○
女川町地方卸売市場・女川港	令和 3 年 3 月 30 日	
鳥取県宮境港水産物地方卸売市場（陸送上屋・2号上屋）	令和 5 年 3 月 30 日	○
下関漁港地方卸売市場	令和 5 年 3 月 30 日	○
歯舞水産物地方卸売市場	令和 5 年 12 月 27 日	○